

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物

Furusato Meibutsu

宮城県石巻市

が応援するふるさと名物

技と技術が光る伝統工芸品
～雄勝石と雄勝石製品～





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言



宮城県石巻市

石巻市はこんなまち



石巻市は、北上川の河口に位置し、宮城県北東部地域を代表する風光明媚な都市です。伊達藩の統治下においては、水運交通の拠点に位置する「奥州最大の米の集積港」として、全国的に知られた交易都市でした。市街地は、流域の肥沃な平野に位置しており、市域東部から半島にかけては、リアス式海岸となっています。気候は海洋性の気候であり、内陸部と比べると寒暖の差が少なく、東北地方の中では1年を通して比較的温暖な気候となっています。

市北部に位置する雄勝地方では、雄勝石が産出されます。雄勝石の歴史は古く、室町時代からの歴史と伝統を誇っています。伊達政宗公が牡鹿半島で鹿狩りした際に硯二面を献上したところ、とても賞讃されたと伝えられています。二代忠宗公もその巧みな技に感服し、硯師を伊達藩に抱え、硯材を産する山の一般の採石を許さなかったと言われています。また、江戸時代後期の「封内風土記」などの地誌に記されるなど、当時から特産品として扱われていました。



石巻市観光PRキャラクター「いしびよんず」

ふるさと名物の内容

ふるさと名物

技と技術が光る伝統工芸品～雄勝石と雄勝石製品～

600年を超える歴史を持つ雄勝石は純黒色で、圧縮・曲げに強く、吸水率が低いため、永い年月にも変質しない性質を持っています。その特性を活かして、硯や屋根等のスレート材として親しまれてきました。

雄勝石の薄く割れる性質を活かした、全国でも珍しい共蓋付硯ともぶたもあります。また、JR東京駅丸の内駅舎屋根のスレートにも雄勝石が使用されています。最近では、普段使いができる小物やテーブルウェアなども商品開発されています。

また、平成27年にはイタリアミラノで開催された「2015ミラノ国際博覧会」にも出展し、石皿の展示や雄勝硯制作の実演を行うなど、海外に向けた発信も行っています。

雄勝硯



雄勝石製品



主な地域資源

石巻市の取組み

石巻市産業創造助成金

地域資源を活かした産業の創出、石巻市独自の技術開発、販路拡大・技能継承を支援し、本市事業者の地域間競争力を高めていくため、助成金を交付しています。

人材育成事業

- ・新分野への参入に必要な社員の資質、技術力向上等を目的とした研修会
- ・新技術導入による企業の高度化を目的とした技術研修会

研究開発事業

- ・地域資源の活用による新製品の研究開発（共同研究開発を含む）
- ・地域の先導となる起業化を目指す産学連携による共同研究開発
- ・異業種間の共同研究開発

情報提供事業

- ・販路拡大を目的とした商品見本市等
- ・情報交換を目的とした交流
- ・企業間ネットワークシステムの構築

業務支援事業

- ・企業の高度化を目的とした各種認証取得又はI S O（国際規格）認証取得
- ・新商品、新技術等の開発に伴う特許取得又は実用新案取得



伝統工芸品振興事業費補助金

雄勝硯継承、後継者育成・需要開拓等、産地及び生産者の体質強化を図るため、産地組合に対し補助金を交付しています。